

モジャコ情報 (平成15年第2回調査結果)

調査期間：平成15年4月3～10日

鹿児島県水産試験場

調査船：おおすみ 63t

平成15年4月14日発行

調査海域：西薩，南薩，屋久島，種子島，大隅

1【海況】・・・“かなり低め”から“平年並み”

- ・ 黒潮北縁域は竹島の南約10マイル付近にあり(4月7日現在)，接岸傾向にある。
- ・ 定期船による観測では(4月7日現在)，黒潮流域で23.1 (平年並み)，薩南海域で19.5 (やや低め)，西薩海域で16.2 (かなり低め)であった。
 - 1 平年値は，昭和54年から平成14年までの平均値。

2【調査結果】

(1) 流れ藻の分布・・・昨年同期に比べ少ない

- ・ 流れ藻の視認個数は合計1,633個であり，10マイル当たり33.0個で，昨年同期(91.3個/10マイル)に比べ少ない。また，平年(7.9個/10マイル)に比べかなり多い。
- ・ 採取した流れ藻重量は1.9～31.2kg(平均8.5kg)で，昨年同期(1.2～29.2kg 平均10.9kg)に比べ小型の藻である。また，視認された流れ藻も小型のものが多い。
- ・ 甑島西・南，草垣周辺，口永良部島周辺及びび口之島までの間，屋久島南西・種子島南の海域で流れ藻が多い。

(2) モジャコの付着状況・・・昨年同期並み

- ・ 採取した流れ藻は25個であり，流れ藻1kg当たりの付着尾数は1.6尾/kgで，昨年同期(2.0尾)に比べ少ない。また，平年(7.5尾)に比べかなり少ない。
- ・ 屋久島海域においては，マアジの付着が多い。

(3) モジャコの大きさ・・・昨年同期並み

- ・ 採捕したモジャコの全長は平均73.3mm(範囲：15～144mm，モード：70～74mm)であり，昨年同期(73.6mm)並みある。また，平年(47.4mm)より大型であった。

2 平年とは昭和61年から平成14年までの4月上旬の平均値。

表1 海況及びモジャコの付着状況(4月上旬)

調査項目	海域	平成15年	平成14年	平成13年	平成12年	平成11年	平年(S61～H14)
流れ藻視認個数 (10マイル当たり)	大隅	2.9	37.9	14.6	1.4	0.4	5.9
	種子島	73.7	185.0	0.0	54.8	0.3	26.7
	屋久島	62.1	78.6	0.6	10.5	0.1	10.6
	南薩	7.9	95.2	6.7	9.9	1.9	10.1
	西薩	7.2	75.2	12.0	7.0	0.7	9.2
	平均(全海域)	33.0	91.3	5.1	15.2	0.9	7.9
流れ藻1kg当たり のモジャコ付着尾数	大隅		2.6	16.8	3.8	5.9	8.2
	種子島	3.7	5.3		15.0	0.3	8.9
	屋久島	1.6	1.6	23.0	38.0	63.9	18.6
	南薩	0.7	1.2	1.6	6.3	12.6	3.9
	西薩	0.0	0.3	1.6	0.3	0.9	1.8
	平均(全海域)	1.6	2.0	5.9	11.9	7.7	7.5
モジャコ平均全長 (mm)	大隅		77.7	51.8	60.3	83.7	49.0
	種子島	83.9	81.0		64.2	116.4	67.3
	屋久島	61.2	69.6	42.1	63.1	42.4	49.6
	南薩	51.0	58.8	33.1	51.1	58.9	47.7
	西薩	57.0	50.2	31.5	46.0	54.3	43.0
	平均(全海域)	73.3	73.6	42.7	62.3	56.0	47.4
定期船観測による 各海域の4月上旬 平均水温()	黒潮流域	23.4	24.0	23.7	23.1	23.5	24.3
	薩南海域	20.2	20.2	21.3	19.8	22.1	19.7
	西薩海域	16.3	17.2	17.6	16.6	18.8	17.3

1 空欄は流れ藻を採取できなかった又はモジャコが付着していなかったことによる欠測。

2 定期船観測による各海域の平均水温()の平年値は，S54～H14の平均である。